

活かす通信

2022年12月(185号)

<http://toushi-club.com>

★★

巻頭言 元時事通信記者 篠田憲明

「党内の後継人材払底」で安泰。首相衆院解散の意図なし？

★★

11月20日に寺田稔総務大臣が政治資金をめぐる疑惑満載で更迭され、遂に1か月に3人の“閣僚ドミノ辞任”となった。タイミングが遅すぎたと言ふべきかもしれない。当の岸田文雄首相は求心力の低下を承知の上で「相次いで閣僚が辞任する事態となり、深くお詫び申し上げます。任命責任を重く受け止めている」と殊勝だが、首相周辺によると、首相はインドネシアでのG20（主要20カ国・地域）首脳会議やタイで開催されたAPEC（アジア太平洋・経済協力会議）首脳会議に出席して自信を深めており、APEC首脳会議終了後の内外記者会見では「日本を守り、日本国民の安心を保つ。この政治の最大使命を推し進めていく上で大事な一歩を踏み出すことができた1週間だった」と胸を張った。旧統一教会絡みや閣僚自身の疑惑言動による閣僚の“ドミノ辞任”はどこ吹く風で、岸田氏お得意の「首脳外交」に成果があったと強調したいわけだろう。

ところが内閣支持率は最近、朝日新聞社の調査で岸田内閣の支持率が37%台に落ち込み、この3カ月間は支持より不支持率の方が高い傾向である。特に先10月の時事通信社の最新世論調査では、内閣支持率は政権発足後最低だった前月と比べ支持率が4.9ポイント減の27.4%と20%台に。これは“不人気政権”だった菅義偉内閣で最低だった昨年8月の29.0%をも下回り、政権維持にとって“危険水域”とされる数字だ。このまま内閣支持率回復が無ければ、来年5月下旬、岸田首相の地元で開かれる「広島サミット」を待たず、統一地方選挙前にも退陣してもらふべきだとの声が自民党内外で一気に台頭している。しかし岸田首相は今後の政権運営に自信満々のように見える。確かに自民党内には茂木敏允幹事長や河野太郎デジタル担当相が「後継者」足り得る人材ではある。しかし、茂木氏や河野氏には自民党内から「指導者として帯に短しタスキに長しだ」（閣僚経験者）というのが大方の評価だ。そもそも岸田氏の「総理の資質・器」論については、岸田氏を自民党総裁に選出した際にもあった。同党は「安竹宮（安倍晋太郎、竹下登、宮澤喜一氏の略。いずれも故人）時代」以来、約20年間、小

選挙区制に移行して党執行部に権力が集中してきたこともあるが、「次の国政選挙に勝てる総裁かどうか」で新総裁を選んできたのではない。後継者の育成などには殆ど力を入れて来なかった。さらに小泉純一郎氏や故安倍晋三氏のように総理大臣として長年国政をリードして来た時代もあった。現在、自民党内の様子は麻生太郎副総裁が岸田支持。党内最大派閥の「清和会」は後継会長を決められず“空中分裂”状態が続いている。また「反岸田」と見られた菅義偉前首相と二階俊博元幹事長が 2 人一緒に岸田首相の会食招待を受けて「岸田政権支持」を約束されたという。つまり次期総裁に相応しい人材が払底しており「清和会など党内の敵を気にしなくても良い」（同党長老）状態だからこそ安泰で自信満々ののだ。岸田氏は時にはヴラフ（単なる脅し）として衆院解散論を言うだろうが、「総裁の任期切れである再来年 9 月迄衆院解散しない限り“岸田時代”は続く」（国会関係者）のだ。（憲）

★★

勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫

「分散投資についての偉大なる投資家の意見」

★★

「長期」「分散」「積立」は、投資の三大原則として広くその実践が推奨されています。しかし、史上最も偉大な投資家と言われるアメリカのウォーレン・バフェット氏は、分散投資が資産を大きく増やすための手段とは認めていませんでした。近年こそ、バフェット氏は投資のプロでない人に、米国株の S&P500 のインデックスファンドを奨めています。しかし、彼自身の運用は未だに、保有上位 10 銘柄で運用資産全体の 9 割近くを占めるような、限られた銘柄への集中投資を旨としています。以下が、バフェット氏の分散投資についての考えです。日本人にはあまり見られない機知に富んでいます。

（ウォーレン・バフェットは語る ジャネット・ロウ著 1997 年より）

1. 「分散投資は無知に対する防衛だ。自分たちの行動を理解している者にとってほとんど意味が無い」（1996 年 バークシャー・ハサウェイ年次株主総会）
2. 「世界の莫大な富は、一つの素晴らしいビジネスを保有し続けたことで生まれた。それ程沢山持つ必要は無い」（1996 年 ニューヨーク証券分析協会）
3. 「もしあなたが 40 人の女性のハーレムを持っていたら、誰のこともよくわからない」（バフェット氏が過度な分散投資の結果を説明するために引用した、ブロードウェイの興行主ビリー・ローズ氏（写真）の言葉。1991 年 ロサンゼルス・タイムズ）
4. 「私は、50 とか 75 のものに関わることはできない。それは、ノアの方舟式

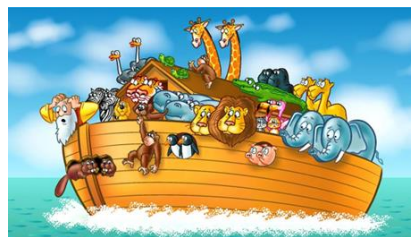
の運用方法だ。そんなことをしたら動物園になってしまう。私は、意味のある金額のお金を少数の会社に投資したい」(1987年 ウォール・ストリート・ジャーナル)



ウォーレン・バフェット



ビリー・ローズ



ノアの方舟

どうやらプロとは、家の中でも金融資産でも、意味のあるものだけに「片づけられる人」のようですね。私たちは、多分散らかし過ぎています。

★★

ムッシュ望月の今月の相場展望+映画

映画は世につれ、世は映画につれ、世相を反映するのが相場

★★

1, 日米とも今年はパフォーマンスに恵まれない年で一致している。米国市場では大統領選の年を軸に株高を見る傾向がある。4年間の中では、中間選挙の年が一番悪く、大統領選の1年前が良いかということ 1971年から2019年までの間でマイナスパフォーマンスは1度だけで、マイナス幅は2.2%である。2023年については、かなり良いパフォーマンスが期待出来そうだ。その理由は現在ハイペースで引き上げられている金利が、インフレの収束の動きが見られだす事と経済の減速に伴い金利の引き下げが来年の春以降には行われる可能性が高まるからである。株式市場の特徴は6ヵ月先のことを読み込もうとするからである。日本も同じく、12肢の中で、「卯(う)」年は3番目に好調なパフォーマンスを記録している。特に各年で上昇率が高く、2023年は2回とも20%以上を記録している。2022年4~9月の上場企業の決算は2年連続最高益となり、海運や商社、鉄道・バスなど非製造業がけん引きした。製造業は円安が下支えしたものの原材料高が重荷となり増益率は1%で止まっている。米国の金利上昇がピークを向かれる事となれば、急激な円安は収まり、落ち着きどころを探ることになり、ドル円の為替も130円~140円台となることが想定される。すると、円安により割安に放置された東京市場にも海外の投資家が戻ってくることに。その兆候は見られ、10月末から3週連続で約1兆円の買い越しに転じている。2023年は東京市場は活況が期待できる。法人も割安を利用して自社株を買い続けており、来年は30000円台が定着すると予測する。国内でも半導体に対する政府の力の入

れ方に変化が見られ、米の著名な長期投資家のバフェット氏が率いるファークシャー・ハザウェイは、台湾の TSMC の新規投資を始めている。日本でも TSMC の設備投資する企業が大きな影響を受けることになるだろう。個別の銘柄については、िकास投資塾で紹介していくので、お楽しみに。

2、今月の映画より：「ザリガニが鳴く」

2022年10月は13本の映画に出会いました。通算では98本、年間の120本の目標は十分に達成出来そうです。10月には、「プリンセス・ダイアナ」「アイムまきもと」「マイブローケン・マリコ」「3つの鍵」「耳をすませば」「RRR」「天間荘の三姉妹」が印象に残りました。11月に見た映画の紹介をします。

「ザリガニの鳴くところ」は、2019年・2020年にアメリカで最も売れた本で、日本でも2021年本屋大賞（翻訳小説部門第一位）に輝きました。その同名小説の映画化です。原作者はアメリカの動物学者であり小説家であるディーリア・オーエンズです。舞台はノースカロライナ州の「ザリガニが鳴く」と言われる湿地帯です。主人公のカイアは、6歳の時に両親に見捨てられ、学校にも通わず、湿地帯の自然（花、草木、貝、鳥等）から生きる知恵を学び、一人生き抜いてきました。心を許した青年は、大学生となり湿地帯から離れ学生生活をする事になり、失意の日を送りました。そんな彼女の世界に、裕福な家庭で育ち、将来を託され、婚約者がいる青年が入り込んできました。青年はカイアに偽りのプロポーズをし、彼女を惑わせました。その青年がある日不自然な死をしたことで、カイアは殺人者として留置されます。彼女の無実を証明するのは非常に困難で、それは彼女が孤独な生活を湿地帯で送っていたことから知り合いも少なく、アリバイを証明する手立てがなかったからです。しかし、地元で育った老年の弁護士は、やけっぱになった彼女の心をほぐしながら、真犯人に到達していきます。

★★

2022年12月、23年01月のイカスのイベント情報

★★

株式投資勉強会：

12月07日（水）：15：00～花咲投資クラブ、イカス事務所

12月13日（火）：16：00～サロン・ド・望月（株式投資）イカス事務所

12月08日（木）：13：30～日比谷会投資クラブ、イカス事務所

12月17日（土）：15：00～スペリオール投資クラブ、イカス事務所

12月22日（木）：15：00～東京3Eクラブ、イカス事務所

01月04日(水):15:00~花咲投資クラブ、イカス事務所
01月10日(火):16:00~サロン・ド・望月(株式投資)イカス事務所
01月12日(木):13:30~日比谷会投資クラブ、イカス事務所
01月21日(土):15:00~スペリオール投資クラブ、イカス事務所
01月26日(木):15:00~東京3Eクラブ、イカス事務所

イカスのイベント:

イカス冬の交流会:12月8日午後6時、外国特派員協会、司会:三宅あみ氏
オペラ歌手:稲垣貴子氏(二期会)、ピアノ演奏:徳永洋明氏
講演:夕刊フジ主催「5月グランプリ獲得」:古賀真人氏(個人投資家)
懇親会時演奏:古賀真人氏(ピアノ)+岩橋格氏(バイオリン)

01月14日(土)午後2時から第3回 講師:山本博幸(帝京大学教授、
元野村証券国際部、フランス、バーレン、ベルギー、韓国25年駐在)
世界の金融経済の裏話・投資術を披露します、イカス事務所

サロン・ド・知久(交流会)

第10回:22年11月25日(金):18:00~21:00、倶楽部エル
カラオケ会、3時間、懐石料理+飲み放題、6500円

第11回:22年12月23日(金):18:00~21:00、倶楽部エル
カラオケ会、3時間、懐石料理+飲み放題、6500円

第22回:22年12月14日(水)14:00~16:00、イカス事務所

講師:郷圭子氏、紙芝居+朗読会、オーヘンリー作、「賢者の贈り物」

第23回:23年01月25日(水):講師:市川光男(元ビクター国際部、現フランス倶楽部
散歩の会主催、ユーチューバー)、「生涯学習 一日一生」

第24回:23年02月21日(火):14:00~、イカス事務所

講師:荒井凜(生き生きヘルスコーチ)「体の仕組みを知る」

☆イカス投資塾・経済セミナー参加費3000円、知久サロン参加費2000円

★無料メルマガ毎月25日配信

★有料メルマガ毎週(日)配信、年間24000円、3ヵ月6000円

★ツイッター:「ムッシュ望月」毎日更新(政治経済・株式投資・映画)

☆イカス投資塾・経済セミナー参加費3000円、知久サロン参加費2000円

info@toushi-club.com <http://www.toushi-club.com>

☆「10代で見につける株式投資の基礎知識」電子書籍発売中(アマゾン)

セブンイレブンネット書籍: <https://7net.omni7.jp/detail/>